

2020年4月号 セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆さまへ

2月最終週から始まった新型コロナウイルスによる金融市場の動揺は、3月に入って感染地域の中心が欧米にシフトしたことから世界的な感染拡大となり、米国が最多感染者数を、死者数ではイタリアが最多となるなどまだ拡大途上で、終息の見通しは現時点ではまったく見出せぬ状況です。

中国では感染がピークアウトして産業界の事業再開に目途が立ち始める明るい兆しもありますが、米欧でピークを迎えるのはまだ先のこと。日本でも感染拡大期突入の瀬戸際という現状に鑑みると、収束まではまだ一定の時間を要することになりましょう。

世界の株式市場はパンデミック宣言と共に変動幅が増幅して、2月末から3月中旬までの短期間に2割超の暴落となりましたが、市場変動幅を示すVIX(ボラティリティ指数)は高水準ながら安定して来ました。結果として現在の株式市場の価格水準は、軒並み経済回復が当面見込まれない程のレベルまで安くなったと言えますか。

「セゾン号」の長期投資の旅は出発から14年目に入っており、かつてのリーマンショックも乗り越えて来ました。それを振り返れば、極端に安くなった価格水準を毎月コツコツと皆さまの積立資金で買い進んで来たことが良好な運用成果の糧となったわけで、今回のコロナショックもやがて収束の時を迎えたならば、平常時の生活やビジネスの営みを当たり前前に希求する世界中の人々が、その回復実現に向けて活動再開するはずで、実体経済がそれを叶える意志を取り戻したら、マーケットはそこへの期待を込めて反発することになりましょう。その時期まで弱気のまま底這っている市場で、私たち長期投資家は先の変化を見据えて、相変わらずコツコツと劇的に安くなった水準で仕込み続けて行く。こうした投資行動の継続が、将来の長期的成果をより大きく結実させる枢要なのです。

3月は皆さまから平常時より遥かに多い資金投入をいただいて、「セゾン号」はしっかり買う側にまわることが出来ています。こうした悲観相場のオーバーシュートは私たち長期投資家にとっては絶好の機会となるはずで、コロナ騒動の終息を虚心坦懐に待ちながら、長期投資の旅から得られる新たな経験知を、みんなで積み上げて進んでまいりましょう!

代表取締役社長 中野 晴啓

ご留意事項

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。投資信託に係るリスクや費用等は、それぞれの投資信託により異なります。投資元本の保証はありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

委託会社:セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口:03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00(土日祝日、年末年始を除く)

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

3月の市場動向

株式

新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに経済活動が大幅に落ち込むことへの警戒が高まり大きく下落

世界各地で新型コロナウイルスの感染拡大を抑制するために人々の行動を制限する措置が打ち出されたことを受けて経済活動の大幅な落ち込みに対する警戒が高まって大きく下落しましたが、大規模な金融支援策や景気対策が打ち出されたことから、終盤にはやや落ち着きを取り戻しました。

債券

米国で政策金利の引き下げを含む大規模な金融緩和策が打ち出され米国債が上昇、ユーロ圏の国債や日本国債は下落

経済活動の大幅な落ち込みや信用不安に対処するために大規模な金融緩和策が打ち出された一方で、各国政府が景気刺激策に必要な資金を調達するために、国債を大量に発行するとの見方が広がったことから、全体としては方向感のない展開となりました。

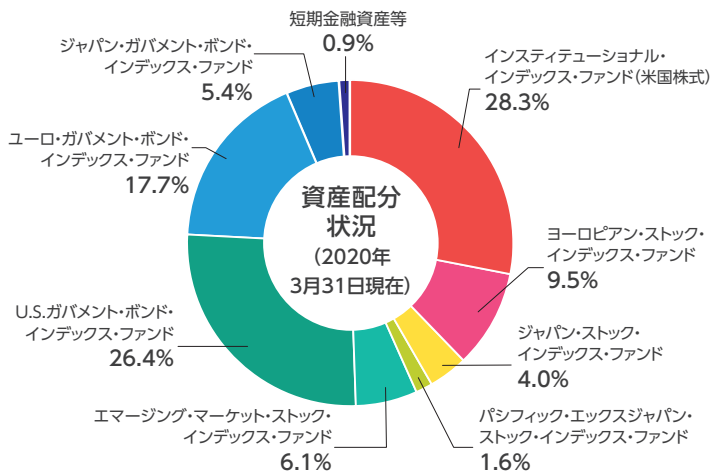
為替

ドルやユーロなどの主要通貨が新興国通貨や資源国通貨に対して上昇。円も上昇し、対ドル、対ユーロで小幅な円高

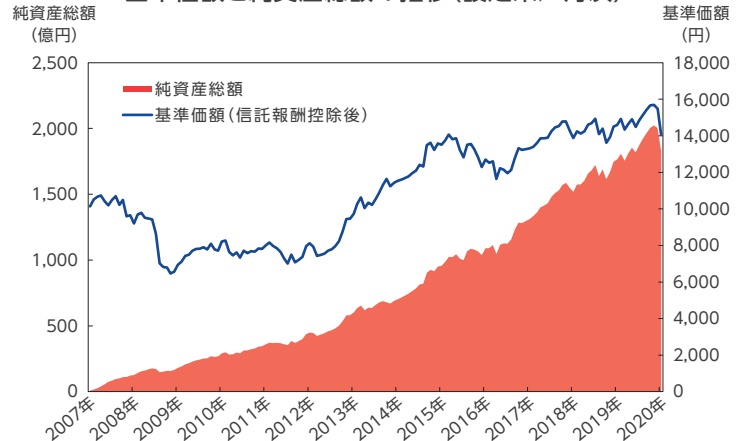
先行きへの不透明感が広がり、金融市場の混乱への警戒が高まるなかで、リスクが高い資産から資金を引き揚げる動きが強まったほか、主要産油国による減産協議が決裂したことを受けて原油価格が大幅に下落したことから、新興国通貨や資源国通貨が下落してドルやユーロや円が上昇しました。

基準価額と純資産総額及び騰落率(2020年3月31日現在)

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
14,063円	1823.7億円	40.63%	-9.11%	-5.21%	-3.65%



基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次)



3月の運用状況

今月の投資スタンス

今月は、株式市場が大きく下落したことを受けて、序盤から終盤にかけて、株式・債券比率のリバランスを目的として債券ファンドの売却と株式ファンドの購入を継続して行いました。また、定期積立プランなどのご購入により、皆さまからお預かりした資金を利用して、定められた投資比率に従って、株式ファンドの購入を行いました。

ファンドマネジャーからの一言

今月は、投資先のファンドが米国債に投資するものを除いて下落し、基準価額の下落要因となりました。為替は対ドル、対ユーロで円高となり、基準価額の下落要因となりました。結果、当ファンドの基準価額は下落しました。当ファンドでは引き続き、将来への予測に依存することなく幅広く投資を行うことでリスクを分散しながら、皆さまの長期的な資産形成に資することができるよう努めて参ります。

運用部長 瀬下 哲雄

※変動要因については、右側の図1、図2をご参照ください。
※ファンドの基準価額は原則として2営業日前の株式・債券市場の終値を反映しています。

図1 3月度の投資先ファンド価格の変動による影響

※月末の投資比率に基づく概算値/投資先ファンド通貨建て

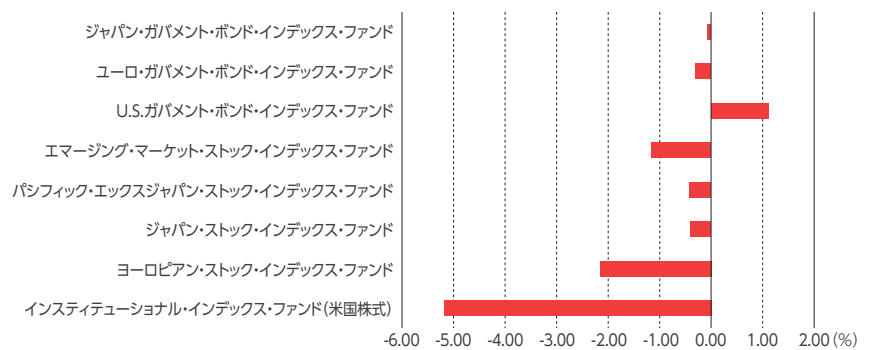
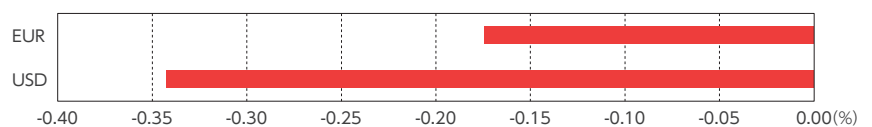


図2 3月度の為替変動による影響 ※月末の投資比率に基づく概算値



当ファンドに係るリスクについて

◆基準価額の変動要因

当社の運用、販売するファンド(以下、当ファンド)はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としております。一般に、株式の価格は、個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は、市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受けます。〔「価格変動リスク」〕また、当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。〔「為替変動リスク」〕その他の当ファンドにおける基準価額の変動要因としては、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。運用による損益は、すべてお客さまに帰属します。当ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものではありません。

◆その他のご留意点

当ファンドは、預金や保険契約と異なり、預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には、投資者保護基金の対象となりません。投資信託の設定・運用は委託会社がおこないます。

当ファンドに係る費用について

◆投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料:ありません。
- 信託財産留保額:換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に0.1%の率を乗じた額が控除されます。

◆投資者が信託財産で間接的に負担する費用

○運用管理費用:ファンドの日々の純資産総額に年0.506%(税抜0.46%)の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的にお客さまにご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.57%±0.02%程度(税込)となります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券における信託報酬を加味した実質的な負担額の概算値です。各投資信託証券への投資比率、各投資信託証券の運用管理費用の料率の変更等により変動します。

○その他費用:信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用(有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む)、監査報酬(消費税含む)、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことができません。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡す投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

「Vanguard」(日本語での「バンガード」を含む。)および「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社および承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. および Vanguard Investments Japan, Ltd. より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。従って、The Vanguard Group, Inc. および Vanguard Investments Japan, Ltd. は当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

委託会社：セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号
加入協会：一般社団法人 投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00 (土日祝日、年末年始を除く)